

こどもの救急について

こどもの家庭内事故を防ごう

これからの季節、室内で過ごす時間が増えます。室内は安全と思われがちですが、幼い子どもにとっては危険がいっぱいです。室内をもう一度見直し、冬の事故を予防しましょう。

うちのなかで、こんな事故が多く起きています。

1位:ころぶ 2位:おちる 3位:たべる 4位:ひっかける 5位:ぶつかる
6位:やけど 7位:はさむ 8位:きる 9位:ささる 10位:おぼれる

※事故の対策は裏面参考

こどもの急な病気に困ったら

空気が乾燥する季節になりますと、かぜやインフルエンザが流行します。休日や夜間に、病院の診療を受けるべきか判断に迷ったり、どう対処したらよいのかを知りたいときは下記の相談ダイヤルを利用しましょう。

みえ子ども医療ダイヤル

8 0 0 0

※みえ子ども医療ダイヤル（#8000）では、子どもの病気・薬・事故に関することについて、医療関係の専門相談員が電話による相談を実施しています。

- 1 対 象 18歳未満の子どもおよびその家族
- 2 相談内容 子どもの病気、薬、事故に関すること
- 3 相談者 医療関係の専門相談員
- 4 相談日時 毎日19:30～翌朝8:00
- 5 その他 光電話、IP電話など上記番号でつながらない場合は、059-232-9955 へおかけください。

事故の原因を知って対策をしましょう！

1位

ころぶ



風呂場、段差、洗面所など

少しの段差や濡れた床などで転ぶ可能性があります。目を離さないようにしましょう。

2位

おちる



階段、窓、ベランダなど

転落防止の柵をつけたり、踏み台になるようなものを置かないようにしましょう。

3位

たべる



たばこ、薬、電池など

飲み込めそうなものは、手の届くところに置かないように注意しましょう。

4位

ひっかける



ブラインドの紐、水筒のストラップなど

手の届かないところに置き、ひも付きのものは外して遊ばせるようにしましょう。

5位

ぶつかる



机の角、テーブルの角など

角の部分はやわらかいもので保護しておくなど、ぶつけてもいいように工夫しましょう。

6位

やけど



アイロン、熱い飲み物など

やけどのおそれのあるものは子供の手の届かないところへ置くようにしましょう。

7位

はさむ



窓、ドア、引きだしなど

危険と思われるところには、鍵などをして開けられないようにしましょう。

8位

きる



包丁、カミソリなど

使用後はすぐに片づけて、簡単に開けられない場所に収納するようにしましょう。

9位

ささる



ペン、歯ブラシ、ヘアピンなど

ささりやすいものは使用後に片づけるなど、整理整頓を心掛けるようにしましょう。

10位

おぼれる



風呂場、ビニールプールなど

水深が浅くても溺れます。少しの間でも目を離さないように注意しましょう。